

講師のみなさんをご紹介します（プロフィール）※実施順

「ことばの達人になろう」

大多和 秀昌 先生 神戸野田高等学校 教諭・
元兵庫県立芦屋特別支援学校校長



大学卒業後は国語の教員として約20年、
特別支援学校の教員として約20年やってきました。
今はこの長田区にある神戸野田高校で国語を教えています。

「新たな書の魅力 ～ろう書きに挑戦」

福角 窓月 先生 書道家 滋賀県立瀬田工業高校教師
(国語・書道)



「書窓」主宰。滋賀県書写技能検定協会滋賀県審査員。
滋賀県守山市美術作家協会会員。
障害青年の学びを支える専攻科滋賀の会理事・書道教室講師。
滋賀県立高校講師 (国語・書道)

「映画『国宝』の世界とは～日本の伝統文化を学ぶ」

小笹 勝弘 先生 Busifro-Search株式会社
代表取締役



5歳の時に大阪「国立文楽劇場」初舞台。
16歳で日本舞踊藤間流 名取「藤間紋之輔」襲名。
39歳で児童・障がい・介護福祉Care-baseとしてリニューアル。
同年東久邇宮文化褒章受賞。

「FIFAワールドカップとフェアプレー精神」

亀谷 涼 先生 流通科学大学 准教授



高校卒業後、単身イタリアにわたり、プロサッカーチーム
「Monza Calcio」で武者修行を積む。
帰国後はサッカークラブのコーチとして指導に携わり、
現在は大学教員として教育・研究を行う。

「インクルーシブ教育って何？ ～NHK大阪放送局制作の福祉番組「バリバラ」から考える～」

高木 佑透 先生 NHK神戸放送局ディレクター



1995年生まれ。香川県出身。重度の知的障害のある弟がいる。
弟や自分にカメラを向けたセルフドキュメンタリー映画の制作や、大学院での障害学や障害者のきょうだいの質的研究を経て、
2022年にNHKに就職。初任地の大阪放送局では報道番組「かんざし映視屋」や福祉番組「バリバラ」で豊中市の学校教育を
中心にインクルーシブ教育について考える番組を制作。2024年に神戸放送局に異動し、阪神・淡路大震災30年に関する企画を
複数担当。2025年度には、元町高等通商高専「モトコ」にて、寄せられたメッセージやアーカイブ映像の展示、
神戸ゆかりの人々が登壇するトークイベントと合わせて番組化した「HYOGO+ モトコ神戸のこれまでとこれから」を
制作したほか、神戸大学で知的障害のある人たちが学ぶ「神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム」(通称・KUPI)を
半年以上担当取材し、2026年5月に「HYOGO+ 私たちが大学で学ぶ理由(ワケ)」という番組にまとめた。

「オペラを愉しもう！～その歴史と実際」

柳 直友子 先生 神戸市立中学校 講師



京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。
令和4年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。
武庫川女子大学音楽学部専攻科声楽専攻を卒業。
シューベルト協会会員。

「エンターテインメントの世界と野瀬病院」

遠藤 順二 先生 タレント「ココリコ遠藤」実弟
野瀬病院課長



20代はホテルマン、30代はゴルフ業界。医療の世界に
飛び込んだのは、41歳のときです。年末の『ガキの使い』や
『さんま御殿』に、家族そろって出演させてもらったこともあります。
ホテルマン仕込みの「おもてなしの心」と、エンタメの視点。
この二つを医療に掛け合わせると、何ができるか
——それを毎日考えながら仕事をしています。

「仮説実験授業『空気と水』」

木下 孝弘 先生 元 特別支援学校 教諭



2018年3月に小学校教諭を定年退職しました。
1991年から仮説実験授業研究会会員になり、担任した
クラスで仮説実験授業を毎年、数十時間実施してきました。
3年ほど前から【専攻科滋賀の会】の講師になり、
科学の授業をさせていただきます。

「新長田の街に出て、カメラ（携帯も可）を 使って街を撮ってみよう！！」

岩本 順平 先生 Creative unit DOR代表
写真家・ディレクター



兵庫県神戸市を拠点に活動する写真家／クリエイティブディレクター。
DANCE BOX理事。地域に根ざした活動や人の営みを丁寧に捉え、
外部に伝わるかたちへと編集することを重視している。
APAアワード2026広告写真部門特選賞受賞。

「『カワ』る『サキ』へ」カワサキワールドの 裏側見せます！～川崎重工の乗物の秘密」

澤田 敏夫 先生 川崎重工業株式会社 勤務



川崎重工業株式会社 エネルギーソリューション&マリカンパニーCo.
企画本部 人事労務総括部 基幹職/元株式会社川重ハートフルサービス 取締役
元神戸しあわせの村ユニバーサルカレッジ運営委員/
元アビリンピック兵庫県実行委員会 委員/企業に籍置職場適応援助者(ジョブコーチ)
中央労働災害防止協会 心理相談員/元 公益社団法人 全国障害者雇用事業所協会 理事 兵庫支部長
障害者職業生活相談員/職業能力開発推進者

「障害者が学ぶ大学～KUPI『神戸大学 『学ぶ楽しみ発見プログラム』について」

津田 英二 先生 神戸大学 教授



神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授。2019年から2024年まで神戸大学附属特別支援学校校長も業務。
2018年に文部科学省「学校卒業後の障害者の学びの推進に関する有識者会議」委員。
2020年から兵庫県教育委員会「めざす障害者の生涯学習」連携コンソーシアム座長を務めるなど、
障害者の生涯学習推進政策に関与してきています。2005年から「子育て支援をきっかけにした共生のまちづくり」を
めざす地域施設「のびやかスペースあーち」の開設と運営、2008年から障害者が働く学内カフェ「アゴラ」の設置と
運営、2019年から知的障害者に大学教育を開く「学ぶ楽しみ発見プログラム」の開設と運営を行うなど、
インクルーシブな社会に向かう教育実践をテーマとして、研究活動、教育活動、社会的実践を行っている。
専門は社会教育論、生涯学習論。著書に「知的障害のある人々の人生を支援論」(学文社)、
「物語としての発達/文化を介した教育」(生活書院)、「生涯学習のインクルージョン」(明石書店)。

「ヨガ哲学に触れてみよう！」

吉谷 知愛 先生 ヨガインストラクター
クリエイター



デザインの世界で長年培ってきた「個性を表現し、形にする力」と、ヨガがもたらす
「心と体を解放する心地よさ」を融合させ、独自のウェルネス空間を提案しています。
世界で最も認知度の高いヨガインストラクターの国際資格、RYT200修了後、日々の忙しさで
心がカチコチになっている人々を温かく包み込み、本来の輝きを取り戻すためのヨガイベントや
講座を精力的に企画・主催。
本講座では、ただポーズをとるだけでなく、自分自身の心と体に向き合い、毎日を軽やかに、
笑顔で生きるためのヒントを、等身大の言葉をもって分かりやすくお伝えします。

「みんなの困った！解決講座 ～お願いしていいことを知ろう～」

塚本 先生 & 親和大学 学生
親和大学 教授
(元兵庫県立高等特別支援学校 校長)



中学校や特別支援学校、兵庫県の特別支援教育に長く携わってきました。
現在は神戸親和 大学で、先生をめざす学生を教えながら、障害のある人もない人も
安心して学ぶ、インクルーシブ教育について研究しています。
この講座では、みなさんの「困ったこと」を大学生のみなさんと一緒に話し合い、
ロールプレイを通じて、毎日の生活や仕事で役立つ解決方法を楽しく学びます。